



報道関係者各位

【WBC2026に関する全国アンケート追跡調査結果】

地上波で放送してほしかった 63.4%

WBC 目的の Netflix 加入 11.5% そのうち継続予定は 27.0%

ベネズエラ優勝に納得 76.0% 侍ジャパンのロス五輪金メダルに期待は 79.6%

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部教授）は、2026 WORLD BASEBALL CLASSIC（以下 WBC2026）の大会後に、大会前の全国 1 万人アンケートの追跡調査を実施しました。回答人数は 1,000 人。調査内容は、全試合の結果認知とリアルタイム観戦率、日本代表選手の活躍満足度、Netflix の加入・継続動向、非加入者の代替手段、WBC の評価やユニバーサルアクセス権に関する意識などです。

1. 試合内容認知率とリアルタイム観戦率

	試合内容認知率		リアルタイム観戦率	
1 位	【準々決勝】 日本 5-8 ベネズエラ	52.1%	【プール C】 日本 8-6 韓国	20.3%

2. 日本代表選手の活躍満足度^{※1}

※1：その選手を認知している回答者の中で何%が「活躍に満足している」と回答したか

	MLB 所属選手		NPB 所属選手	
1 位	大谷翔平（ロサンゼルス・ドジャース）	65.1%	森下翔太（阪神タイガース）	50.3%
2 位	吉田正尚（ボストン・レッドソックス）	53.0%	周東佑京（福岡ソフトバンクホークス）	47.0%
3 位	鈴木誠也（シカゴ・カブス）	44.4%	種市篤暉（千葉ロッテマリーンズ）	46.5%

3. WBC2026 視聴目的の Netflix 新規加入者と通常契約者との継続意向比較

Netflix 契約者の区分		継続予定	解約予定
WBC2026 の視聴が目的の新規加入者	N=115	27.0%	73.0%
通常契約者	N=185	95.7%	4.3%

4. Netflix 非加入者 N=733^{※2} の情報入手経路

※2：WBC2026 開催中の入会者には未加入期間について質問

	リアルタイム	ダイジェスト
1 位	速報アプリ・速報サイト 22.2%	テレビのニュース・情報番組 33.2%

5. 意識調査^{※3}

※3：専門知識や興味ないと回答しづらい質問には選択肢「わからない」を設け、それ以外の回答を有効回答とした

質問	有効回答	はい	2023
大会期間中、家族・友人と WBC の話題で盛り上がった	N=1,000	35.5%	85.5%
WBC は「最高峰の野球の国際大会」として定着したと思う	N=573	72.6%	
WBC2026 におけるベネズエラの優勝は納得の結果だ	N=542	76.0%	
侍ジャパンが 2028 ロス五輪で再び世界の頂点に立つ姿を見たい	N=702	79.6%	
Netflix による独占配信は成功だったと思う	N=534	19.9%	
WBC2026 の日本戦は地上波テレビで放送してほしかった	N=1,000	63.4%	
国民の関心が高いスポーツ大会は、誰もが無料で視聴できることが望ましい	N=1,000	70.8%	
WBC だけでなく、今後は五輪やサッカー W 杯も有料配信になっていくと思う	N=1,000	51.9%	



1. 試合内容認知率とリアルタイム観戦率

WBC2026の1次ラウンド(4プール40試合)と準々決勝4試合、準決勝2試合、決勝1試合の全47試合について、最初に【試合内容認知】の質問を行い、続いてそれらの試合の【リアルタイム観戦】について尋ねました。

調査を実施した1,000名のうち、「リアルタイムで観戦した試合がない」の回答者は71.6%でした。これは今回のWBCがNetflix(ネットフリックス)によるライブ中継の独占配信という、前例のない視聴環境だったことが一因と考えられます。

下の2つの表は、いずれも1,000人を分母に計算した【試合内容認知率】と【リアルタイム観戦率】のトップ10です。

順位	試合内容認知率 (左が勝利チーム)		試合開始時刻 (日本時間)
1	【準々決勝】ベネズエラ 8-5 日本	52.1%	3月15日(日) 10:00
2	【プールC】日本 8-6 韓国	48.8%	3月7日(土) 19:00
3	【プールC】日本 13-0 台湾 (7回コールド)	48.0%	3月6日(金) 19:00
4	【プールC】日本 9-0 チェコ	44.1%	3月10日(火) 19:00
5	【プールC】日本 4-3 オーストラリア	43.7%	3月8日(日) 19:00
6	【決勝】ベネズエラ 3-2 アメリカ	33.0%	3月18日(水) 9:00
7	【準決勝】アメリカ 2-1 ドミニカ共和国	16.6%	3月16日(月) 9:00
8	【準決勝】ベネズエラ 4-2 イタリア	16.0%	3月17日(火) 9:00
9	【準々決勝】ドミニカ共和国 10-0 韓国 (7回コールド)	14.1%	3月14日(土) 7:30
10	【プールB】イタリア 8-6 アメリカ	11.6%	3月11日(水) 10:00

順位	リアルタイム観戦率 (左が勝利チーム)		試合開始時刻 (日本時間)
1	【プールC】日本 8-6 韓国	20.3%	3月7日(土) 19:00
2	【準々決勝】ベネズエラ 8-5 日本	20.2%	3月15日(日) 10:00
3	【プールC】日本 4-3 オーストラリア	18.8%	3月8日(日) 19:00
4	【プールC】日本 13-0 台湾 (7回コールド)	18.1%	3月6日(金) 19:00
5	【プールC】日本 9-0 チェコ	17.3%	3月10日(火) 19:00
6	【決勝】ベネズエラ 3-2 アメリカ	4.8%	3月18日(水) 9:00
7	【準決勝】アメリカ 2-1 ドミニカ共和国	1.9%	3月16日(月) 9:00
	【プールC】韓国 7-2 オーストラリア	1.9%	3月9日(月) 19:00
9	【準決勝】ベネズエラ 4-2 イタリア	1.8%	3月17日(火) 9:00
	【準々決勝】ドミニカ共和国 10-0 韓国 (7回コールド)	1.8%	3月14日(土) 7:30
	【プールC】台湾 5-4 韓国 (延長10回)	1.8%	3月8日(日) 12:00

【試合内容認知率】の1位は準々決勝のベネズエラ戦。トップ5はいずれも日本戦で認知率40%を超えました。続く6位が決勝戦、7~8位が準決勝という順当な結果でした。9位には同じプールCを戦った韓国の準々決勝の試合が入り、10位は今大会最大の番狂わせともいわれたイタリアがアメリカを破ったプールBの試合が入りました。

【リアルタイム観戦率】では、過去のWBCで幾度となく死闘を演じてきた韓国との試合が準々決勝を上回り1位でした。6位の決勝戦は日本時間の平日午前中ということもあり5%を割りました。プールC(東京ラウンド)は時差がないため、視聴しやすい時間帯の試合もありましたが、Netflixによる独占配信の影響か、7位以降は2%を切る結果でした。



2. 日本代表選手の活躍満足度

日本代表「侍ジャパン」の30選手に関しては、最初知っている選手を選ぶ【認知選手】の質問を行い、続いて認知選手を対象に【活躍満足】を尋ねました。いずれも該当する選手全員を選択できる質問です。

「活躍満足」度数を「選手認知」度数で割った値を【活躍満足度】と定義し、MLB（メジャーリーグ）とNPB（日本プロ野球）の所属ごとにそのトップ5を以下の表にまとめました。チームのベスト8敗退を受け、一部で評価が分かれる結果となりましたが、世界と戦う雄姿に満足した回答者も数多くいたことが確かめられます。

順位	[背番号] 選手名 (MLB 所属チーム)	WBC ポジション	活躍 満足度	理由 (抜粋)
1	[16] 大谷翔平 (ロサンゼルス・ドジャース)	指名打者	65.1%	<ul style="list-style-type: none"> 予選からいいバッティングを見せて、大会ベストナインにも選ばれた。(長崎県 50 代男性) 侍ジャパンの支柱 3本のホームラン (山形県 60 代男性) ベネズエラ戦の先頭打者ホームラン (千葉県 60 代男性)
2	[34] 吉田正尚 (ボストン・レッドソックス)	外野手	53.0%	<ul style="list-style-type: none"> チャンスでしっかり結果を残した (埼玉県 50 代男性) オーストラリア戦で起死回生のホームラン (静岡県 60 代男性) ここぞという時の本領発揮 (群馬県 40 代女性)
3	[51] 鈴木誠也 (シカゴ・カブス)	外野手	44.4%	<ul style="list-style-type: none"> 韓国戦の2ホームランが印象的 (兵庫県 20 代男性) 大谷と飛車角的な存在感 (埼玉県 40 代男性) ヘッドスライディングで負傷してまで頑張った (山形県 60 代女性)
4	[18] 山本由伸 (ロサンゼルス・ドジャース)	投手	35.4%	<ul style="list-style-type: none"> 1番安定感があり、見ていて不安にならない (沖縄県 30 代女性) 先発で試合を作ってくれた (東京都 50 代男性)
5	[19] 菅野智之 (コロラド・ロッキーズ)	投手	18.5%	<ul style="list-style-type: none"> 点を取らせることのないピッチング (神奈川県 60 代女性) チーム最年長、頑張って投げてくれた (東京都 50 代女性)

順位	[背番号] 選手名 (NPB 所属チーム)	WBC ポジション	活躍 満足度	理由 (抜粋)
1	[23] 森下翔太 (阪神タイガース)	外野手	50.3%	<ul style="list-style-type: none"> 交代出場での3ランホームラン (埼玉県 40 代男性) 逆転ホームランなど、ここぞというところで活躍 (兵庫県 50 代女性) 少ないチャンスでも結果を出した (佐賀県 60 代男性)
2	[20] 周東佑京 (福岡ソフトバンクホークス)	外野手	47.0%	<ul style="list-style-type: none"> 期待の走力だけでなく期待以上の活躍 (埼玉県 50 代男性) 韓国戦の好守、チェコ戦のスリーランが印象的 (兵庫県 20 代男性) スーパーキャッチ、バッティングでも貢献 (神奈川県 60 代女性)
3	[26] 種市篤暉 (千葉ロッテマリーンズ)	投手	46.5%	<ul style="list-style-type: none"> 見ごたえのある投球 (佐賀県 60 代男性) 三振をたくさんとっていた (東京都 20 代男性)
4	[7] 佐藤輝明 (阪神タイガース)	内野手	42.6%	<ul style="list-style-type: none"> 控えに回っていたが、出てきたときの活躍度 (大阪府 50 代男性) チャンスでタイムリーヒットをよく打った (兵庫県 20 代男性)
5	[6] 源田壮亮 (埼玉西武ライオンズ)	内野手	37.2%	<ul style="list-style-type: none"> 高打率好守備でチームを支えた (千葉県 50 代男性) 得点につながる働き (愛知県 30 代女性)



3. Netflix による独占配信

今回のWBCは、ライブ中継の視聴がNetflixの契約者に限られるという異例の大会でした。本章では「大会前契約意向の検証」と「今後の契約継続意向」に分けて、調査結果を掘り下げます。

3-1. 大会前の契約意向の検証

本研究所ではWBC2026が開幕する3月5日のおよそ2週間前に当たる2月16日～19日に、日本在住の20歳～69歳の男女10,000人（総務省統計局最新人口推計の都道府県・性別・年代構成比に準拠）に対して「Netflixの契約状況・契約予定」に関する調査を実施しました。その際の契約予定者が実際にはどの程度入会したのか、3月19日～23日に1,000人に対して実施した大会後調査の結果に照らして検証します。

大会前調査 (N=10,000)		大会後調査 (N=1,000)	
WBC2026に関係なく契約済	17.3%	開幕前から、WBC2026以外の理由で契約していた	18.5%
		大会期間中に、WBC2026以外の理由で契約した	1.1%
WBC2026が理由で契約	4.9%	開幕前に、WBC2026の視聴が理由で契約	6.8%
盛り上がり次第で契約検討	8.8%	大会期間中に、WBC2026の視聴が理由で契約	4.7%
どんなに盛り上がりつつも契約しない	68.0%	大会期間を通じて、契約しなかった	67.5%
その他	1.0%	その他	1.4%

大会前調査では「**WBC2026による新規契約**」の最大値を「WBC2026が理由で契約」（4.9%）と「盛り上がり次第で契約検討」（8.8%）の合計値である**13.7%**と予測しました。大会後調査では、WBC2026を理由とする新規契約率は「開幕前に契約」（6.8%）と「大会期間中に契約」（4.7%）を合わせた**11.5%**となり、予測の範囲に収まりました。なお、大会前の「どんなに盛り上がりつつも契約しない」（68.0%）と、大会後の「大会期間を通じて、契約しなかった」（67.5%）はほぼ同率であり、大きな変化は見られませんでした。

他方で、大会前調査時よりも大会後調査時の方が「**WBC2026以外の理由で契約**」の比率が**2.3ポイント上昇**（17.3%から19.6%へ）している理由については、Netflixが2月19日から3月18日まで実施した「WBC応援キャンペーン」（広告付きスタンダードプランが通常の月額890円から498円に値下げ）の影響が少なくなく、WBC以外のコンテンツ視聴を目的とする層がNetflixに新規入会する動機付けになったと推測できます。

3-2. 今後の契約継続意向

前節で触れた副次的な効果も含め、NetflixはWBC2026を機に理論上20代～60代の約14%にも当たる膨大な新規加入者（WBC目的11.5%+WBC以外2.3%）を獲得したと予測できます。その新規加入者の多くがキャンペーン終了後もサブスク契約を継続したらビジネス的にも大成功ですが、将来的な見込みはどのようなのでしょうか。

そこで、「通常契約者」（開幕前からWBC2026以外の理由で契約していた）、「WBC目的の新規加入者」、「WBC目的以外の新規加入者」（大会期間中に、WBC2026以外の理由で契約した）の3つの区分に注目し、それぞれの継続意向を比較しました。

「ずっと契約を続ける予定」と「しばらくは契約を続ける予定」を統合して【継続予定】、「少ししたら解約する予定」と「最短で解約する予定/すでに解約済」を統合して【解約予定】と集約すると、通常契約者の継続予定率は95%を超えるのに対して、WBC目的の新規加入者では73.0%が解約予定であることが判明しました。該当者が少ないため不安定ではありますが、WBC目的以外の新規加入者もほぼ同様の比率であり、キャンペーン目的の加入という前節の仮説がほぼ裏付けられる結果となりました。



Netflix 契約者の区分		ずっと契約を 続ける予定	しばらくは契約を 続ける予定	解約する予定 少したら	最短で解約する予定 ・すでに解約済
通常契約者	N=185	95.7%		4.3%	
		65.4%	30.3%	2.7%	1.6%
WBC2026 の視聴が目的の新規加入者	N=115	27.0%		73.0%	
		0.9%	26.1%	32.2%	40.8%
WBC 目的以外の新規加入者	N=11	27.3%		72.7%	
		9.1%	18.2%	27.3%	45.4%

ただし、爆発的な新規加入者のうち約 27%が継続見込みという点は、一過性と呼ぶには極めて大きな比率であり、WBC2026 の独占配信ならびに応援キャンペーンを「成功」と評価することもできなくはないでしょう。

4. Netflix 非加入者の情報入手経路

前章より、WBC2026 開催期間中の最大の Netflix 契約率（家族や同居者が契約し視聴可能な状態も含む）は 31.1%に達していたと考えられますが、第 1 章では、それを大きく上回る「試合内容認知率」が示されていました。大会期間を通じて契約しなかった 67.5%の人たちは常時、WBC2026 の開催中に入会した人たちは Netflix に契約するまでの間、どのように WBC2026 の情報を入手していたのでしょうか。該当者 733 人の入手経路を【リアルタイム】と【ダイジェスト】に分けてまとめました。

	リアルタイム		ダイジェスト	
1 位	速報アプリ・速報サイト	22.2%	テレビのニュース・情報番組	33.2%
2 位	SNS	8.9%	ネットニュース・Web 記事	24.3%
3 位	ラジオ放送・radiko	4.4%	新聞記事	7.6%
4 位	契約している友人・知人と視聴	2.3%	家族・友人・知人から	5.5%
5 位	パブリックビューイング	0.8%		
6 位	スタジアムで現地観戦	0.3%		

【リアルタイム】では、「速報アプリ・速報サイト」が群を抜いて高く 22.2%でした。2 位は「SNS」でしたが、20 代女性では、速報アプリ・速報サイトの 11.9%を上回る 23.8%でした。3 位は地上波テレビ放送がされないことで再注目された「ラジオ放送・radiko」。こちらは 50 代男性と 60 代女性で SNS の値を上回りました。4 位の「契約している友人・知人と視聴」は 60 代男女で、5 位の「パブリックビューイング」は 20・30 代男性でそれぞれ 3%を超えました。

【ダイジェスト】では、「テレビのニュース・情報番組」が 1 位、「ネットニュース・Web 記事」が 2 位でしたが、20 代男性と 40 代男性ではその順位が逆転します。3 位の「新聞記事」は 60 代男女では 12%を超える値を示すなど、性・年代によって情報入手経路に違いが見られました。



5. 意識調査

最後に、意識調査の結果を「WBC と侍ジャパンの評価」と「ユニバーサルアクセス権」に分けて報告します。なお、専門知識や興味がないと回答しづらい質問については選択肢「わからない」を設け、それ以外の回答を有効回答としました。

5-1. WBC と侍ジャパンの評価

本研究所が大会前に実施したアンケート（N=10,000）における優勝チーム予想は、「日本」が圧倒的な 1 位で 71.2%、次ぐ「アメリカ」が 20.0%で、その 2 国で 9 割以上を占めていました。しかし実際は、日本は準々決勝でベネズエラに敗れてベスト 8 で敗退、アメリカも決勝でそのベネズエラに敗れて、2 大会連続の準優勝で幕を閉じました。

しかし、「ベネズエラの優勝は納得」と 76.0%が回答したように、投打ともに充実した戦力と、抜け目のない全力プレーで初の栄冠を勝ち取りました。全盛期のスター選手を集め史上最強の呼び声高かったアメリカも、準々決勝で圧倒的な破壊力（韓国に 7 回コールド勝ち）を見せたドミニカ共和国を投手戦で下しました。これらから、72.6%の回答者が肯定するように、第 6 回を迎えた今回の WBC は、真に「最高峰の野球の国際大会として定着した」と言って差し支えないでしょう。

裏を返せば、それだけ日本の前には高く険しい壁が待ち構えることになります。ですが、だからこそ、次なる大きな世界大会、しかも侍ジャパンの主力メンバーである大谷翔平選手と山本由伸選手が所属するロサンゼルス・ドジャースの本拠地「ドジャースタジアム」で開催される 2028 ロス五輪「野球」での金メダルを多くの回答者が熱望してやまないでしょう。

質問	有効回答	はい
WBC は「最高峰の野球の国際大会」として定着したと思う	N=573	72.6%
WBC2026 におけるベネズエラの優勝は納得の結果だ	N=542	76.0%
侍ジャパンが 2028 ロス五輪で再び世界の頂点に立つ姿を見たい	N=702	79.6%

5-2. ユニバーサルアクセス権

本研究所では、WBC2023 に際しても、大会後に N=1,000 の調査を実施しました。WBC2023 では日本が 14 年ぶりの世界一に輝いてフィーバーに沸き、「WBC の話題で盛り上がった」の回答は 85.5%を記録しました。それに比べ WBC2026 はベスト 8 敗退とはいえ、同じ質問の回答が 35.5%にとどまりました。

この一因は、リアルタイム観戦の媒体が Netflix に限られたことと無関係ではないでしょう。そのため、「地上波テレビで放送してほしかった」が 63.4%に達し、「Netflix による独占配信は成功」の評価は 20%に届きませんでした。そして、ユニバーサルアクセス権に関連する質問「国民の関心が高いスポーツ大会は、誰もが無料で視聴できることが望ましい」には、全回答者（N=1,000）の 70.8%が「はい」と回答しました。

しかしながら、国内におけるテレビ離れや、国際的な放映権料の高騰化から、無料放送から有料配信への流れは不可逆的な時代の趨勢だとする向きもあります。現時点では「WBC だけでなく、今後は五輪やサッカー W 杯も有料配信になっていくと思う」の賛否がほぼ拮抗している状況です。今後、ユニバーサルアクセス権の法整備が進むのか、より一層の商業化が進むのか、本研究所では引き続き全国調査を通じて、注意深くその動向を探っていきます。

質問	有効回答	はい	2023
大会期間中、家族・友人と WBC の話題で盛り上がった	N=1,000	35.5%	85.5%
Netflix による独占配信は成功だったと思う	N=534	19.9%	
WBC2026 の日本戦は地上波テレビで放送してほしかった	N=1,000	63.4%	
国民の関心が高いスポーツ大会は、誰もが無料で視聴できることが望ましい	N=1,000	70.8%	
WBC だけでなく、今後は五輪やサッカー W 杯も有料配信になっていくと思う	N=1,000	51.9%	



【調査概要】

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2026年3月19日～23日の5日間

調査対象：大会前に実施した全国1万人アンケート（2026年2月16日～19日）回答者内の1,000人

調査監修：小野田哲弥（産業能率大学スポーツマネジメント研究所研究員／情報マネジメント学部教授）

調査協力：伊東朔・木川侑香（小野田ゼミ）

【回答者属性】（N=1,000）

	男性	女性	各年代計
20代	77	59	136
30代	91	63	154
40代	123	121	244
50代	133	126	259
60代	97	110	207
合計	521	479	1,000

地方	N	都道府県
1. 北海道	34	北海道
2. 東北	72	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
3. 関東	394	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
4. 甲信越・北陸	68	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
5. 東海	113	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
6. 近畿	168	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
7. 中国	53	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
8. 四国	21	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
9. 九州・沖縄	77	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
合計	1,000	

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学広報事務局（共同ピーアール内）

Email : sanno-u-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL:田ヶ谷（080-1088-7338） 秋山（080-1032-8649）